

## 研究室近況

本学創立70周年記念事業の一環として、図書館の増築がなされ、図書館4階に位置した本学科研究室も5階へ移転した。正面の窓からユリノキの素晴らしい大木を眺めることができる明るいところである。

昭和48年度は、カリキュラムがさらに検討され、社会問題、政策、運用の三つの柱に加えて、基礎学習として、「社会福祉原理論Ⅰ」、「社会福祉原理論Ⅱ」、「社会福祉総論」の三つの講座がもたれることになった。そして、例年八王子の大学セミナー・ハウスにて、入生を対象として行なう合宿セミナーは、本年度より原理論Ⅰの授業の一環として行なわれることになった。原理論Ⅰの指導には、学科スタッフ全員が携わり、前期には大阪・市立大学の宮本憲一先生を、そして後期には社会事業大学の吉田久一先生をお招きして、講演していただいた。

本学科において、非常勤講師として、20数年間ご指導くださった松島正儀先生が、昭和48年3月をもって停年退任なされ、かわって4月より、重田信一先生においでいただき、「社会福祉施設管理」を担当していただいている。また、昭和48年度特別講義には、「地方自治と行政」赤木須留喜先生、「現代社会と非、行少年」岩井弘融先生、「看護社会学」米山桂三先生「医療保障論」佐口卓先生をおむかえした。

さらにまた、海外出張中の小島助教授にかわって、内山文子先生、山崎道子先生をおむかえし、それぞれ「社会福祉演習Ⅰ」、「社会福祉演習Ⅱ」を担当していただいた。

現在、小島助教授は、米国ウィスコンシン大学で研究に励んでおられるご様子である。また、昭和48年3月をもって本学を退任した田向助手にかわって、岩本が助手として研究室に加わった。佐藤学科主任をはじめとして、専任スタッフ全員は、それぞれの研究活動、および社会的活動をすすめると同時に、学生の指導にあたっている。

次に、最近における、研究室スタッフの主たる著作・論文をあげる。

松本武子教授

「児童の福祉」愛育 母子愛育会 第38巻第5

号 昭和48年5月

「児童と環境 (1)~(4)」家庭教育 第47巻第13号~第48巻第2号 家政教育社 昭和48年11月~49年2月

「学童保育と学生の実習指導——日本女子大学家庭福祉センター報告」日本女子大学児童研究所紀要 第2号 昭和49年2月  
佐藤進教授

『婦人労働者の妊娠・出産・育児と社会保障制度の研究』（雇用促進事業団研究報告書）昭和48年5月

『医療関係者のための社会保障法入門』風媒社 昭和48年11月

「労働災害補償の諸基準、法理を判例にみる」労働判例 16165 産業労働調査所 昭和48年2月

「京都厚札自動車解雇予告除外認定拒否処分取消請求事件」（判例評釈）ジュリスト 16532 有斐閣 昭和48年5月

「最近の労働者福祉立法の制定動向とその特質」労働法学会誌 第41号 昭和48年5月

「社会福祉行政における国と地方自治体の役割」ジュリスト臨時増刊号 16537 有斐閣 昭和48年6月

「社会法における生存権保障」法学セミナー 日本評論社 昭和48年6月号

「指標としての福祉事務所」医療と人間と 第2号 勁草書房 昭和48年6月

「労災補償の当面する理論的諸問題」労働判例 16180 産業労働調査所 昭和48年9月

『社会福祉の基礎知識』（社会福祉と法律問題作成および設問）有斐閣 昭和48年10月

「法制度からみた「労働（者）福祉」立法の推移と動向」労働者福祉研究 第2号 日本労働者福祉研究協会 昭和48年10月

「労働法の国際化と社会保障の問題化」『現代法学辞典』第4巻所収 日本評論社 昭和48年11月  
一番ヶ瀬康子教授

『保育一元化の原理』編著 勁草書房 昭和48年3月

『社会事業に生きた女性たち』共著 ドメス出版 昭和48年6月

『老後問題辞典』編著 ドメス出版 昭和48年7月

『児童のシビル・ミニマムに関する調査』 編著  
東京都 昭和48年9月

『幼児百科・環境』 編著 フジテレビフェディツブ  
研究所 昭和49年1月

「老人の家族生活 社会問題として」 共訳著  
家政教育社 昭和49年1月

「女教師の婦人問題」 編著 第一法規出  
版 昭和49年2月

「現代の生活実態と福祉問題」 ジュリスト臨時増  
刊号 №537 有斐閣 昭和48年6月

「福祉と教育」 教育 №290 国土社 昭和  
48年6月

「日本社会事業の歩み」 月刊福祉 全国社会福祉  
協議会 昭和48年8月、9月

「社会福祉の社会教育」 月刊社会教育 第9号  
国土社 昭和48年9月

「都市のなかの家族」 現代都市政策講座 第10  
巻 岩波書店 昭和48年10月

「東京都養育院史研究序説」 社会事業史研究第1  
号 社会事業史研究会 昭和48年10月  
米地実助教授

「明治末期神社行政に関する覚書——いわゆる神社  
整理について」 日本女子大学紀要文学部 22号  
日本女子大学文学部 昭和48年3月  
田端光美助教授

「農村人口の老齢化をめぐる」 社会福祉 №16  
日本女子大学社会福祉学科 昭和48年3月

「農民と福祉」 ジュリスト臨時増刊号 №537  
有斐閣 昭和48年6月

「矢島楯子」 『社会事業に生きた女性たち——そ  
の生涯と仕事』 所収 ドメス出版 昭和48年6月

「農村の新しい貧困と福祉問題」 日本女子大学農  
家生活研究所報告書 昭和49年3月

宇都栄子助手

「明治時代の婦人福祉(明治元年——40年)——  
富国強兵への足どりのもとで」 教育評論 №289  
日教組 昭和48年5月

「富国エイ」 『社会事業に生きた女性たち——そ  
の生涯と仕事』 所収 ドメス出版 昭和48年6月

「社会事業に生きた女性たち略年表」 『社会事業  
に生きた女性たち——その生涯と仕事』 所収 ドメ  
ス出版 昭和48年6月

「児童養育保護政策における棄児取扱について——

明治21年～26年の先例——」 日本女子大学紀要  
文学部 23号 日本女子大学文学部 昭和49年3  
月

大友昌子助手

「養護施設の設立とその社会的背景——設立目的の  
考察を中心に——」 社会福祉 №16 日本女子大  
学社会福祉学科 昭和48年3月

「家族理論研究(I)——戸田貞三『家族構成』を  
中心として——」 日本女子大学紀要文学部 23号  
日本女子大学文学部 昭和49年3月

(昭和49年2月 岩本記)

あとがき

この号では、すでに記した通り、家政学部三類時代  
の資料を掲載した。とくに社会事業学部時代との相違  
については、さらに考察をふまえる必要がある。時代  
的変遷を背景にして、論をかさねていきたいと思う。  
その意味で、資料集としてのこの稿について御意見、  
御助言がいただければ幸甚である。つづいて、家政学  
部管理科時代の資料を蒐集する。

なお、今年の委員は、下記の通りである。

特別委員 今岡エミ (39回)

福富恵子 (41回)

研究室選出専門委員 一番ヶ瀬康子(43回)

宇都栄子 (新制20回)

みどり会選出協力委員 遠藤節子 (46回)

田中美代子 (新制1回)

島田広子 (新制6回)